

# Yakushima Revealed: An In-Depth Journey into Japan's Mystical Island

中村佳介

2025 年 8 月 5 日

# はじめに

筆者がこの本を執筆した目的は、筆者の頭の中にある屋久島についての情報を体系的に整理するためである。旅のしおりとしての活用は副次的であり、本分は屋久島を詳らかにしたいという欲求そのものである。そのためどうしても主観的な意見が入り込まざるを得ないが、大目に見て欲しい。また、筆者の個人的な情報が多分に含まれるため、他人に見せる際はその部分を黒塗りにして提供していただきたい。この本を執筆するにあたり、屋久島についての情報を出せるだけ出してみた。すると私がいかに高度な教育を受けていたのか分かってきた。諸君らは自分の故郷についてこれだけかけるだろうか。筆者は大変満足している。ぜひこの本をお供に屋久島を楽しんで頂きたい。

## 概観

屋久島は鹿児島県の南に浮かぶ島である。特筆すべきは世界自然遺産に登録されていることで、特に縄文杉はその名を全国のみならず世界に轟かせている。だがそれ以外の部分も大変魅力的であり、訪れる価値のある島である。今回、屋久島についてまとめるにあたり、大きく6つの部分に分けた。1. 屋久島の地理 2. 屋久島の気候 3. 屋久島の動植物 4. 屋久島の文化、歴史 5. 屋久島の集落、名所 6. 今回会うであろう人々 内容が重複するところもあるが、同じ事物であってもそれぞれの観点から論じていくので読み飛ばさないでくれるとありがたい。

# 目次

<b>第 1 章</b>	<b>屋久島の地理</b>	<b>1</b>
1.1	位置と大きさ . . . . .	1
1.2	地質と形成 . . . . .	2
1.3	荘厳な山々と水の恵み . . . . .	3
<b>第 2 章</b>	<b>屋久島の気候</b>	<b>5</b>
2.1	屋久島の降水量 . . . . .	5
2.2	屋久島の気温 . . . . .	6
<b>第 3 章</b>	<b>屋久島の生物</b>	<b>7</b>
3.1	垂直分布 . . . . .	7
3.2	屋久島の森の主役: 屋久杉 . . . . .	7
3.3	森の植物 . . . . .	8
3.4	屋久島の森の動物 . . . . .	8
3.5	屋久島の海の生物 . . . . .	8

# 1

## 屋久島の地理

### §1.1 位置と大きさ

---

屋久島は九州本土最南端の佐多岬から南南西約 60km の海上に位置する離島である。船で向かう途中、屋久島の姿が見えてくると、その見た目はまるで巨大な山である。屋久島は洋上アルプスの異名を持ち、1700m 級の山が 7 座、1000m を超える山が 45 座連なっている。

その大きさは約 504km<sup>2</sup>、周囲約 132 km であり、ほぼ円形の島である。

## §1.2 地質と形成

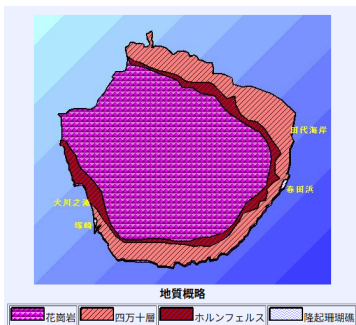


図 1.1 屋久島の地質図

屋久島の地質は外周部が日向群層の堆積岩からなり、中央部に直径約 25km の花崗岩が貫入している。この花崗岩は約 1550 万年前に地下のマグマだまりから形成され、その後花崗岩が隆起したことによって屋久島の高い山々ができたとされている。実はこの花崗岩との違いが隣の平坦な種子島との違いを生んでいる。堆積岩と花崗岩の接点部分は熱変性によりホルンフェルスになっている。ホルンフェルスは非常に硬く、屋久島の滝を形成する一因となっている。このホルンフェルスの沿ってタングステンの鉱脈が存在し、鉱山跡が点在している。一方、春田浜や栗生の塚崎には隆起サンゴ礁の海岸が広がっている。

### コラム: 屋久島の花崗岩



図 1.2 屋久島の花崗岩

屋久島の花崗岩は、大きな正長石の結晶を含むので、白っぽく見える。これはマグマがゆっくり固まったためだといわれている。花崗岩は浸食されやすく、屋久島の高山では風化した特徴的な形の花崗岩<sup>\*1</sup>を見ることができる。

<sup>\*1</sup> 屋久島の名所にて後述

## 幸谷火砕流



図 1.3 幸谷火砕流

屋久島の地層を見てみると、幸谷火砕流と呼ばれる火山灰の層がある。これは屋久島の北約 40km にある鬼界カルデラが 7300 年前に噴火した際に飛散した火砕流であり、幸谷火砕流と呼ばれている。この火山灰は東北地方まで飛散している。屋久島全域でこの層は見られ<sup>\*2</sup>、厚さは数十 cm から 2m 以上あり、島中が火砕流に覆われたことがわかる。屋久島という花崗岩からできた貧栄養の島が幸谷火砕流によって栄養を得たことは、屋久島の豊かな森の形成に影響を与えたであろうことは間違いない。

## §1.3 荘厳な山々と水の恵み

### 屋久島の山々

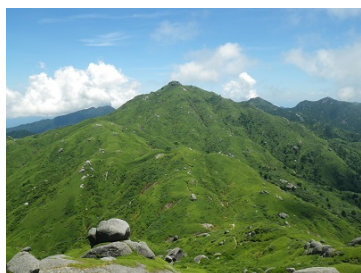


図 1.4 宮之浦岳

屋久島には数多くの山があり、その中でもとくに有名なものを挙げると、

- 九州最高峰の宮之浦岳 (1936m)<sup>\*3</sup>
- 九州 第二峰の永田岳 (1886m)<sup>\*3</sup>
- 黒味岳 (1831m)<sup>\*3</sup>
- 山頂に巨大な岩 (天柱石) がある太忠岳 (1497m)
- 巨大な一枚岩からなるモッチョム岳 (944m)

### 河川と滝

屋久島には多くの河川と滝が存在し、その中でも特に有名なものを挙げると、

<sup>\*2</sup> 泊まるところの近くにみられる場所があるので、授業と称して車を停めることになる。

<sup>\*3</sup> この三座 (黒味岳が栗生岳の場合もある) は屋久島の三岳と呼ばれている。



図 1.5 大川の滝

- 宮之浦川: 屋久島最大級の河川で, 今回何度  
も入ることになるだろう.
- 安房川: 安房集落にある川で, 汽水域<sup>\*4</sup> が  
長く, カヌー SUP ができる.
- 栗生川: 栗生集落にある川で, 河口にメヒ  
ルギのマングローブ林がある.
- 大川の滝: 屋久島最大の滝で, 高さ 88m の  
大迫力の滝.
- 千尋の滝: 大きな一枚岩の間を流れる滝.

---

<sup>\*4</sup> 淡水と海水が混ざり合う場所

一ヵ月、ほとんど雨ですな。屋久島は月のうち、三十五日は雨というぐらいでござい  
ますからね……『浮雲』(林芙美子)

# 2

## 屋久島の気候

### §2.1 屋久島の降水量

屋久島の気候について論ずるとき、その雨量について触れないわけにはいかない。屋久島は日本で最も雨が降る地域であり、平地では年間平均雨量が 4000mm を超え、山間部では 8000mm-12000mm に達する。小説家の林芙美子は屋久島が舞台の小説『浮雲』の中で屋久島は一か月のうち 35 日雨が降ると書いている。はたから聞くと、何を言っているんだと思うかもしれない。だが、この表現はなかなか的確を得ていて、雨の多い時期にはほんとに毎日以上雨が降っているような気さえする。実際、一日の降水量が 400mm を超えることもあり、これは福岡の年平均降水量の約四分の一に相当する。屋久島に住んでいると、バケツをひっくり返したような雨すらも超えるような、海をひっくり返したような雨を一年に一度は経験することになる。

以下に屋久島とメンバーそれぞれの地元の降水量のグラフを示す。



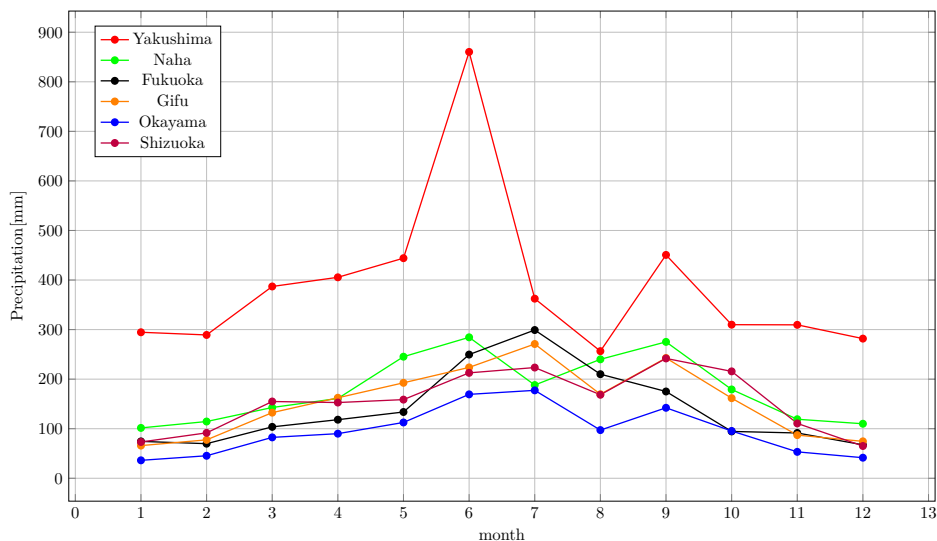


図 2.1 屋久島と各地の降水量

屋久島	那覇	福岡	岐阜	岡山	静岡
4651.7	2161	1686.9	1860.7	1143.1	1868.2

表 2.1 屋久島と各地の年間降水量（単位：mm）

図 2.1 のグラフを見てわかる通り，屋久島の降水量は他の地域と比べて圧倒的に多い。また，表 2.1 を見ると，年間降水量ではほかの地域の 2 倍以上の降水量があることがわかる。また，山間部では 2012 年に屋久杉ランドで 11130mm(平年値:10048mm)の降水量を記録した。これは世界最多とされるチェラプランジ（インド）の平年値である 10449mm に迫る。屋久島は世界でも有数の豪雨地帯であるのだ。

## §2.2 屋久島の気温

屋久島の気温は年間を通して温暖で，年平均気温は約 19.6℃である。もっとも気温が低い一月でも平均気温は約 11.8℃と気温は低くても 8℃程度である。ただし，山間部では標高が高くなるにつれて気温が低くなり，山頂付近では年平均気温が 6-7℃程度と北海道旭川と同程度の気温になる。この気温差が屋久島の大きな特徴である垂直分布\*5 を生み出している。

\*5 chapter3 を参照

# 3

## 屋久島の生物

### §3.1 垂直分布

前章で解説したように、屋久島はその狭い島に海辺の亜熱帯から山頂の亜寒帯までの気候を持つ。この気候に起因して、屋久島は標高によって植生が異なる。これを**垂直分布**<sup>\*6</sup>と呼ぶ。植生の分布としては 0-200m は亜熱帯林・海岸林、200-600m は照葉樹林、600-1000m の下層では常緑の広葉樹が繁茂し、上がっていくと次第に針葉樹が増えていく。1000-1700m ではほぼ屋久杉だけになり、1700m を超えると森林限界でヤクザサなどの背の低い草本が生育する。

### §3.2 屋久島の森の主役: 屋久杉

屋久島の植物の代表は紛れもなく屋久杉であろう。屋久杉とは屋久島に生え、樹齢 1000 年を超える杉の総称である。1000 年以下のものは小杉と呼ばれ、人工的に植林されたものは地杉と呼ぶ。屋久杉が長寿な理由として、1. 強風、2. 花崗岩質の土壌、3. 多雨などに由来して生長が非常に遅く緻密で、樹脂が多く含まれるからである。

---

<sup>\*6</sup> 屋久島が世界自然遺産に登録された要因の一つ

### 3.2.1 有名な屋久杉

屋久島には有名な屋久杉がいくつもある。その中でも特に有名なものを紹介する。



図 3.1 縄文杉の写真

## §3.3 森の植物

---

## §3.4 屋久島の森の動物

---

## §3.5 屋久島の海の生物

---